

# 関西学院初等部 1年 図画工作科 シラバス 【保護者用】

## ◇ 1年図画工作科の目標

- ・表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだすことや、喜びを味わうようにする。
- ・材料をもとにした造形活動を楽しみ、感じたことなどをもとに豊かな発想をするなどして表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- ・かいたり、つくったりしたものなどを見ることに興味をもち、造形的な面白さなどに気づいたりして、その楽しさを味わうようにする。

## ◇ 1年図画工作科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期  1 2 W	<p>○みてかこう かんじてかこう</p> <p>○すきなものいっぱい</p> <p>○チョッキンパツ でかざろう</p> <p>○てでさわってかくのきもちいい</p> <p>○みてみていっぱいつくったよ</p> <p>○うきうきボックス</p> <p>○うみのせかいへようこそ</p>	<p>○自分の顔の特徴をとらえ、パスを使ってかくことを楽しみます。</p> <p>・パスの感触を味わいながら、様々なかき方を試します。</p> <p>○好きなものをたくさんかいて楽しみます。</p> <p>・描画材料の感触を確かめながら、自分のすきなものや、すきなことを思いつき、たくさん絵に表わすことを楽しみます。</p> <p>・かいたものをつないだり貼り合わせたりして、自分のかいた絵を飾ることを楽しみます。</p> <p>○紙の折り方や切り方や、貼り方を考えて飾りをつくりま</p> <p>す。</p> <p>・紙の折り方や切り方をためしながら、自分なりの新しい表し方を見つけます。</p> <p>○手や指を使ってかくことを楽しみます。</p> <p>・液体粘土と絵具を使って、思いのままに絵に表します。</p> <p>○土粘土の感触を味わい、粘土で表現することを楽しみま</p> <p>す。</p> <p>・丸める、伸ばす、引き出す、つけるなどの粘土の基本的な扱いになれます。</p> <p>○身のまわりの材料を使って、箱を飾ります。</p> <p>・容器の色や大きさ、形などの特徴に気づき、飾り付けを楽しみます。</p> <p>・じょうぶな接合を工夫し、実際に使用できる作品づくりを目指します。</p> <p>○光を通す透明なプラスチック板に、海の様子をかきま</p> <p>す。</p> <p>・自分の表現内容に合わせて、絵の具の濃さや、使う道具をかえてかきます。</p> <p>・光に透かして見る美しさをたのしみます。</p>
二 学 期  1 4 W	<p>○うつしてあそぼう</p> <p>○できたらいいな、こんなこと</p> <p>○おさんぽトコトコ</p> <p>○くもの うえで あそぼう</p>	<p>○粘土を板づくりにして、お皿をつくりま</p> <p>す。</p> <p>・粘土に型を押しつけて、形を写し取る表し方を知ります。</p> <p>・身近材料を使って模様をつけます。</p> <p>○したことや見たことをもとに、思いついたことを工夫し</p> <p>て絵に表します。</p> <p>・好きなものや楽しかったことの様子を表すために、色や形などの表現方法を工夫します。</p> <p>○簡単な仕組みで、動くおもちゃをつくりま</p> <p>す。</p> <p>・動きの特徴に合わせて飾りをつけたり、絵を描いたりして工夫します。</p> <p>・動く仕組みを理解し、自分の表したいおもちゃを考えま</p> <p>す。</p> <p>○画用紙を雲の形に切り抜き、思いを広げて絵に表わしま</p> <p>す。</p>

	<p>○おりぞめあそび</p> <p>○くしゃくしゃがみからうまれたよ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想像したことをもとに、好きな画材を使って思いのままに表わすことを楽しみます。</li> <li>○紙を折っていろいろな色に染めて遊びます。</li> <li>・自分の好きな感じの色や模様染めたい思いを持ち、多様な染め方を工夫しながら試します。</li> <li>○色薄紙をくしゃくしゃにして形を変える作業から新たな形を見つけます。</li> <li>・思いついたことから想像を広げて、色や形の組み合わせやつくり方を工夫します。</li> </ul>
三学期 9 W	<p>○おおきな かみで わっくわく</p> <p>○つづきえどんどん</p> <p>○どうぶつむらのピクニック</p> <p>○えがおつうしん にっこりニュース</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きな紙を使って活動します。</li> <li>・紙を丸めたりねじったりして、自分の好きな紙の表情を見つけます。</li> <li>・色々な形にした紙を、色々な物に見立てて楽しむ。</li> <li>○小さな画用紙に絵をかき、紙を貼りたいしながら想像を広げてお話をつくっていくことを楽しみます。</li> <li>・紙のつなぎ方を考え、自分の思いがよく表せるように工夫します。</li> <li>○身近材料を利用して、すきな動物をつくったり、飾ったりして楽しみます。</li> <li>・材料の形や特徴を生かして、自分らしい表現を工夫します。</li> <li>○自分の経験したことの中から、うれしかったことなど、心に残ったことを絵に表します。</li> <li>・自分らしい表し方で、楽しい感じを出します。</li> </ul>

#### ◇指導の工夫

##### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

・形や色、材料などを子ども達自身に選ばせる機会を繰り返しもつようにし、自分の思いにあった表現ができるように支援します。

##### <基礎基本の技能>

・表したいことに合わせて、粘土、厚紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類などを使いながら、素材に応じた用具の安全な使用方法を習得できるようにします。

##### <鑑賞力の育成>

・自分たちの作品を、ただ見る、眺めるだけでなく、触ったり、手にしたり、話したり、聞いたりしながらそのよさに気づけるようにします。

#### ◇評価の観点

- ・表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくり出そうとしているか。
- ・感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したい事を見つけているか。
- ・思いのままに、体全体の感覚や技能を働かせているか。
- ・かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さに気付いたりして、楽しんで見ているか。

#### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 1・2上 わくわくするね』 開隆堂出版株式会社
- ・ワークシート 等

#### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意いただきますようご協力お願いいたします。
- ・また学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スマック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。

## 関西学院初等部 2年 図画工作科 シラバス 【保護者用】

### ◇ 2年図画工作科の目標

- ・表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだすことや、喜びを味わうようにする。
- ・材料をもとにした造形活動を楽しみ、感じたことなどをもとに豊かな発想をするなどして表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- ・かいたり、つくったりしたものなどを見ることに興味をもち、造形的な面白さなどに気づいたりして、その楽しさを味わうようにする。

### ◇ 2年図画工作科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期  1 2 W	<p>○すきなことなあに</p> <p>○マグネット・マスコット</p> <p>○お話の絵</p> <p>○帽子をかぶって大変身！</p> <p>○ベルをつくろう I</p> <p>○ぶかぶか ゆらゆら</p>	<p>○心に残ったことを自分なりの方法で絵に表します。</p> <p>○磁石を飾り、使えるものをつくります。</p> <p>・つける場所に合う飾りを考え、色や形を工夫します。</p> <p>・磁石の強さに合う重さや丈夫さを考えながらつくりま す。</p> <p>○物語を聞いて、自分のイメージをふくらませながら自由 に表現します。</p> <p>・絵に表わされている主題について、色彩や構図を自分な りに工夫します。</p> <p>・描画材料や表現方法を工夫して効果的に表します。</p> <p>○紙で帽子をつくります。</p> <p>・自分の好きな色や形、飾りを組み合わせたデザインを考 えます。</p> <p>○板づくりの技法を用いて、粘土でベルをつくります。</p> <p>○空き容器を使って、水に浮かべて遊ぶものをつくりま す。</p> <p>・ペットボトルや発泡スチロールをつかって、自分のイメ ージに合わせた楽しい飾りをつくります。</p> <p>・ビニールテープや色紙を使って水に浮かぶ楽しい装飾を 考えます。</p>
二 学 期  1 4 W	<p>○ベルをつくろう II</p> <p>○ゆめのぼうけんものがたり</p> <p>○キラキラシャボンで</p> <p>○かみを立てた かたちから</p> <p>○うつしてみつけて</p>	<p>○陶芸用絵の具で絵付けをし、自分の思いを表わす。</p> <p>○画用紙に自分が表したい世界をかき、主人公を厚紙や紙 粘土でつくって動かして楽しみます。</p> <p>・かいた絵をもとに、表すものを創造を広げてつくりま す。</p> <p>・動く仕組みを考えて、色や形を工夫します。</p> <p>○シャボンからできた色や形から表したいことを思いつ き、描くことを楽しみます。</p> <p>○かみをたてた形から、思いついた事を工夫して表しま す。</p> <p>・紙を立てた状態や特徴からイメージを広げ、自分なりの テーマを思いつきます。</p> <p>・紙の接着や加工方法を工夫し、表現を追求します。</p> <p>○ローラーと型紙を使い、版で表します。</p> <p>・自由な発想や想像を膨らませ、色々な写し方を工夫しま す。</p> <p>・繰り返しや重なりなどの工夫を表現に生かします。</p>

三 学 期  9 W	<p>○着せ替えナナ</p> <p>○ぼかしあそびで</p> <p>○コロコロ大きくせん！</p> <p>○あつまれ、おなじ かたち いっぱい</p>	<p>○ニキ・ド・サンファルの彫刻を鑑賞し、その特徴であるフォルムの面白さ、色彩の豊かさに気づくようにします。</p> <p>・ニキの作品の美しさや面白さを見つけ、自分なりの模様や服のデザインを工夫します。</p> <p>○コンテやクレヨンなどでかいた所をぼかしてできた模様の色や形を生かしてかきます。</p> <p>・ぼかす色の順番を考えて工夫して表します。</p> <p>・色の順番をよく考えて活動を楽しみます。</p> <p>○転がる動きのおもしろさから想像を広げ、動くおもちゃをつくります。</p> <p>・動きの面白さを生かしたおもちゃを考えます。</p> <p>・つくりたいものの動きに合う飾り方を工夫します。</p> <p>○色の違いや、同じ形の大小のならば方を工夫し、模様をかくことに興味や関心を持ちます。</p> <p>・一枚の画用紙の中に自分なりの模様を構成します。</p>
---------------------------	---	---

### ◇指導の工夫

#### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

・形や色、材料などを子ども達自身に選ばせる機会を繰り返しもつようにし、自分の思いにあった表現ができるように支援します。

#### <基礎基本の技能>

・表したいことに合わせて、粘土、厚紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類などを使いながら、素材に応じた用具の安全な使用方法を習得できるようにします。

#### <鑑賞力の育成>

・自分たちの作品を、ただ見る、眺めるだけでなく、触ったり、手にしたり、話したり、聞いたりしながらそのよさに気づけるようにします。

### ◇評価の観点

- ・表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくり出そうとしているか。
- ・感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したい事を見つけているか。
- ・思いのままに、体全体の感覚や技能を働かせているか。
- ・かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さに気付いたりして、楽しんで見ているか。

### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 1・2下 みんなおいでよ』 開隆堂出版株式会社
- ・ワークシート 等

### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意いただきますようご協力お願いいたします。
- ・学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スマック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。

## 関西学院初等部 3年 図画工作科 シラバス 〔保護者用〕

### ◇3年図画工作科の目標

- ・自分らしいアイデアやイメージを大切に創造活動に取り組み、最後まで意欲をもって作品を完成させることができるようにする。
- ・手や体全体の感覚を働かせ、自分なりの表し方ができるように工夫する。
- ・仲間の作品や身近にあるものに関心を持ち、その色や形のおもしろさや美しさ、感じの違いに気づくことができるようにする。

### ◇3年図画工作科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期  1 2 W	<p>○カラフル粘土のお店へようこそ</p> <p>○タイヤをつけて出発進行</p> <p>○絵の具と水のハーモニー</p> <p>○わたしの休み時間</p> <p>○おちゃわんをつくろう I</p>	<p>○紙粘土に絵の具を練りこみ、質感や色調などの美しさ、おもしろさを味わい、つくりたいものをつくります。</p> <p>・色の組み合わせや用具の使い方などを工夫します。</p> <p>○タイヤをつけると走り出す仕組みを生かし、動くおもちゃをつくります。</p> <p>・タイヤをつけて動かして楽しむことや、仕組みに関心を持ち、必要な材料を考えます。</p> <p>○水彩絵の具で形や色を描く快さを味わいます。</p> <p>・筆を使って丁寧に表すことを体験します。</p> <p>○楽しかった休み時間のようすがよくあらわれるように、絵にかきます。</p> <p>・休み時間に遊んだ経験の中で、自分の心に残ったことを思い出すことを楽しみ、その様子がよく表れるようにかきます。</p> <p>○板作りの技法で器をつくります。</p> <p>・粘土を板状にし、型を使って器をつくり出していきます。</p>
二 学 期  1 4 W	<p>○おちゃわんをつくろう II</p> <p>○竜が空からやってきた</p> <p>○「○○した時こんなかお」</p> <p>○世界に一つだけの花</p>	<p>・自分のつくった器に陶芸用の絵の具で模様をかきます。</p> <p>○墨と水彩絵の具を使って、色鮮やかな想像の世界を広げます。</p> <p>・色々な技法を活用しながらのびのびと楽しく表現します。</p> <p>・話や資料をもとに想像を広げ、自分だけの世界をつくり出します。</p> <p>○厚紙や画用紙で版をつくり、その写し方を工夫します。</p> <p>・自分の経験したことの中で思い出に残っている時のことを思い出し、その時の表情を版に表します。</p> <p>○絵の具やカラーペン、折り紙などの材料を使って、自分だけの花をつくります。</p> <p>・さまざまな材料から生まれる表情の違いから、自分なりの表し方を楽しみます。</p> <p>・段ボールカッターを使用し、刃物の取り扱いを学びます。</p>

<p>三 学 期</p> <p>9 W</p>	<p>○ふしぎなのりもの</p> <p>○くぎうちトントン</p> <p>○不思議なシャガール</p> <p>○光と色のファンタジー</p>	<p>○身近なものや好きなものを乗り物に見立てるなど、想像をふくらませて絵に描きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り物の中やまわりの様子を自由にイメージし、自分なりの世界を構想していきます。</li> </ul> <p>○クギを打ったり、木切れを打ち付けたりする心地よさを楽しみます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木にくぎを打った形から自由に想像して、イメージを広げ、作品をつくります。</li> </ul> <p>○シャガールの自由な発想の絵の良さを感じ取ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャガールの絵の構図を考え、関心をもって作品をみます。</li> <li>・シャガールの絵の構図を自分なりに考えます。</li> </ul> <p>○トレーシングペーパーや色セロハンなどを使って飾りをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーシングペーパーや色セロハンがつくる光と影の美しさを生かして、飾るものをつくることを楽しみます。</li> </ul>
-------------------------------------	--	--

#### ◇指導の工夫

##### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

- ・児童一人一人が自分の思いを大切に、想像を広げ、手や体全体を働かせ、表し方を工夫できるように支援する。
- ・児童が、関心や意欲をもつ材料や用具などを用意し、豊かな発想ができるようにする。

##### <基礎基本の技能>

- ・前学年で使用した用具に加え、水彩絵の具、金づち、のこぎりなどを使用し、それぞれの用具の特性をとらえ、表したいことに合わせて工夫して使えるようにする。

##### <鑑賞力の育成>

- ・友人の作品と自分の表しかたなどの簡単な共通点や違いを見つけることができるようにする。
- ・児童が感じ取ったことや関心を持ったことを話し合う機会をもうけ、一人一人の感じ方や見方を広げ、新たな見方のあることに気づかせるようにする。

#### ◇評価の観点

- ・自分の思いを表す体験を深めることに関心をもち、自ら進んで造形表現活動を楽しもうとしているか。
- ・見たことや感じたことなどをもとに、想像力を働かせ、豊かな発想をしているか。
- ・手や体全体の感覚を生かしながら、自分なりの技能や表し方を工夫しているか。
- ・自分たちの作品や身近にある作品のよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見ているか。

#### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 3・4上 できたらいいな』 開隆堂出版株式会社
- ・ワークシート 等

#### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意下さいますようお願いいたします。
- ・また学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スマック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。

## 関西学院初等部 4年 図画工作科 シラバス 〔保護者用〕

### ◇4年図画工作科の目標

- ・自分らしいアイデアやイメージを大切に創造活動に取り組み、最後まで意欲をもって作品を完成させることができるようにする。
- ・手や体全体の感覚を働かせ、自分なりの表し方ができるように工夫する。
- ・仲間の作品や身近にあるものに関心を持ち、その色や形のおもしろさや美しさ、感じの違いに気づくことができるようにする。

### ◇4年図画工作科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<p>○絵の具で遊んで「自分いろがみ」</p> <p>○木々を見つめて</p> <p>○お面をつくろう</p> <p>○マグカップをつくろう I</p>	<p>○色々な用具を使って、絵の具の表現方法を試し、表現効果の美しさやおもしろさを味わいながら、絵の具遊びを楽しみます。</p> <p>○色づくりや筆使いなどをくふうして、気に入った木をかきます。</p> <p>・屋外に出て、身近にある木々を見たり触れたりしながら、表したいことを思いつき、絵に表します。</p> <p>・絵の具を使って色づくりや筆づかいなどをためしながら、画面構成や、かき方を工夫します。</p> <p>○張子の技法を用いてお面づくりを楽しみます。</p> <p>・野生の動物をテーマに、自分の表したい動物をつくるために骨組のつくり方を工夫します。</p> <p>・自分らしいお面にするために、色の組み合わせを考えながら色彩を施します。</p> <p>○板づくりの技法を用い、マグカップをつくります。</p> <p>・粘土の特性を生かし、活動を楽しみます。</p> <p>・ドベを使った粘土同士の接着を体験します。</p>
二 学 期	<p>○マグカップをつくろう II</p> <p>○ギコギコ、コロコロ、たのしいなかま</p> <p>○まほうの力をもつ時計</p>	<p>・陶芸用顔料を使って、飲み物がおいしく見える絵つけを工夫します。</p> <p>○木の感触に親しみながら角材などをのこぎりで切り、形を組み合わせながら、つくりたいものの発想を広げ、作品をつくり上げます。</p> <p>○言葉やお話から想像を広げ、自分だけのお話をつくり、工夫しながら絵に表します。</p> <p>・描く材料を選びながら、自分の想像した世界のかき方を工夫します。</p>

	○くるっと回って、ごきげんいかが	○さかさまに見ると、ちがう顔に見える絵をかきます。 ・ちがう顔に見えるように、色や形を工夫してかきます。 ・友だちの意見を聞きながら、発想を広げるようにします。
三 学 期	○ほると出てくるふしぎな花  ○ゆめいろらんぷ	○刷る楽しさから思いついたことを工夫して木版に表します。 ・版木を彫刻刀で彫ったり、インクで刷ったりして、工夫しながら表現する楽しさを味わいます。  ○風船に糸を巻き、ランプシェードをつくります。 ・偶然に生まれる色や形の不思議さやおもしろさに気づき、楽しみます。

#### ◇指導の工夫

##### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

- ・児童一人一人が自分の思いを大切に、想像を広げ、手や体全体を働かせ、表し方を工夫できるように支援します。
- ・児童が、関心や意欲をもつ材料や用具などを用意し、豊かな発想ができるようにします。

##### <基礎基本の技能>

- ・前学年で使用した用具に加え、水彩絵の具、金づち、のこぎりなどを使用し、それぞれの用具の特性をとらえ、表したいことに合わせて工夫して使えるようにします。

##### <鑑賞力の育成>

- ・友人の作品と自分の表しかたなどの簡単な共通点や違いを見つけることができるようにします。
- ・児童が感じ取ったことや関心をもったことを話し合う機会をもうけ、一人一人の感じ方や見方を広げ、新たな見方のあることに気づかせるようにします。

#### ◇評価の観点

- ・自分の思いを表す体験を深めることに関心を持ち、自ら進んで造形表現活動を楽しもうとしているか。
- ・見たことや感じたことなどをもとに、想像力を働かせ、豊かな発想をしているか。
- ・手や体全体の感覚を生かしながら、自分なりの技能や表し方を工夫しているか。
- ・自分たちの作品や身近にある作品のよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見ているか。

#### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 3・4年下 思いをこめて』 開隆堂出版株式会社
- ・ワークシート 等

#### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意下さいますようお願いいたします。
- ・また学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スマック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。



## 関西学院初等部 5年 図画工作科 シラバス 〔保護者用〕

### ◇5年図画工作科の目標

- ・見たことや感じたことをもとにイメージをふくらませ、つくりたいものの意図や美しさを考えながら自分らしい表現ができるようにする。
- ・自分のつくりたいものの意図に合わせて道具や表現方法を使い分けるなど、様々な技能を使い分けながら表し方を工夫する。
- ・様々な造形作品を鑑賞し、その美しさや表し方のよさを感じ取り、自分の作品にも取り入れていくことができるようにする。

### ◇5年図画工作科の学習計画

	単 元 名	単 元 の 概 要
一 学 期	<p>○パズルづくり</p> <p>○クロッキー</p> <p>○季節を感じて</p>	<p>○電動糸のこで板の曲線切りや直線切りを体験し、パズルをつくりまします。</p> <p>・形や色の組み合わせなど、表したいことに合わせて工夫してつくりまします。</p> <p>○人や物の魅力あるフォルムや動き、リズム感、印象を捉えて、描写しまします。</p> <p>・捉えるべきものを考え、短時間でかくことによって、集中力を養います。</p> <p>○見慣れた風景を、色づくりや筆使いなどをためしながら工夫してかきまします。</p> <p>・自分の感じ方を大切にしながら、自分らしい絵づくりを考える。</p>
二 学 期	<p>○練りこみで表そう</p> <p>○自画像を表そう</p> <p>○そのときを形に</p>	<p>○練りこみの技法を用い、色の違う粘土を組み合わせ、色の混ぜ方を工夫しまします。</p> <p>・混ぜ合わせた粘土から形を考えまします。</p> <p>・粘土同士を接着する技能を身につけます。</p> <p>○木版に自分の自画像を表しまします。</p> <p>・彫刻刀で彫ることと、インクで刷ることの楽しさを味わい、新しい表現方法に関心をもって取り組みまします。</p> <p>・表したい感じになるように、彫りの加減を考えながら木版を工夫しまします。</p> <p>○ものや、人がつくり出すしゅんかんの動きを、想像力豊かに形に表しまします。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ線を切ったり巻いたり、アルミはくをはったりしながらアルミの特性を生かしてつくります。</li> </ul>
三 学 期	<p>○「そのぼ」くん登場</p> <p>○ビー玉、大ぼうけん</p>	<p>○場所のおもしろさや特ちょうから、想像したことを工夫して絵に表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の中に隠れている「顔」を探してカメラに写し、「顔」の特徴から思いついたものを『「そのぼ」くん』として表します。</li> </ul> <p>○身のまわりの材料で、ビー玉が楽しく転がるおもちゃをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特徴を生かし、仕掛けをつくって楽しく遊べるように工夫します。</li> <li>・接着や接合の工夫をする。</li> </ul>

#### ◇指導の工夫

##### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

- ・一人一人のよさや可能性を発揮する表現活動をさせるために、児童それぞれの構想に合った助言をする。
- ・各自の作品のもつ形や色、構成の美しさなどをさらに生かすことができるようにするため、表現方法を工夫する。
- ・これまでの造形体験を生かし、創造的な想像力など、持てる力を総合的に働かせることができるよう支援する。

##### <技能の習得>

- ・糸のこぎりで曲線切りや切り抜きなどを体験し、その使い方に慣れるようにする。
- ・表したいことに合わせて、これまでに経験した表現方法や材料の生かし方などを組み合わせて表現する。

##### <鑑賞力の育成>

- ・作品の背景に興味を持ち、表現する人の思いや心の揺れ、表現の意図などに関心を持ち、自分の感じ方や見方を深める。
- ・様々な作品や表し方を見て、一つの感じ方や見方でとらえることがないように、友だち同士で話し合い、いろいろな角度から作品をとらえるようにする。

#### ◇評価の観点

- ・自分の思いをもち、創造的に表現しようとしているか。
- ・主題の表し方など、自分らしい表現の構想をしているか。
- ・つくりたいものの意図や美しさを考えるなど、豊かな発想をしているか。
- ・材料などの特徴をとらえ、表し方を工夫しているか。
- ・作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったりしているか。

#### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 5・6年上 心をつないで』 開隆堂出版株式会社
- ・ワークシート 等

#### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意下さいますようお願いいたします。
- ・また学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スマック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。

# 関西学院初等部 6年 図画工作科 シラバス [保護者用]

## ◇ 6年図画工作科の目標

- ・見たことや感じたことをもとにイメージをふくらませ、つくりたいものの意図や美しさを考えながら自分らしい表現ができるようにする。
- ・自分のつくりたいものの意図に合わせて道具や表現方法を使い分けるなど、様々な技能を使い分けながら表し方を工夫する。
- ・様々な造形作品を鑑賞し、その美しさや表し方のよさを感じ取り、自分の作品にも取り入れていくことができるようにする。

## ◇ 6年図画工作科の到達目標

### <造形への関心・意欲・態度>

- ・自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。

### <発想や構想の能力>

- ・見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をする。

### <創造的な技能>

- ・表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。

### <鑑賞の能力>

- ・造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じとったり、味わったりする。

## ◇ 6年図画工作科の学習計画

	単 元 名	目 標 ・ 主 な 活 動
一 学 期  1 2 W	<p>○色のイメージを形に</p> <p>○縄文式土器をつくろう</p> <p>○強くてやさしい組み木パズル</p>	<p>○色から受ける花のイメージを絵に表します。</p> <p>・配色や構成を、自分のイメージに添って考えたり試みたりします。</p> <p>・微妙な色の違いや、塗り重ねた時の発色の仕方などを確かめながらかきます。</p> <p>○赤土を使って、ひもつくりの技法による土器をつくります。</p> <p>・いろいろな形を組み合わせると、面白い模様ができることを学びます。</p> <p>○木材を組み立てて、「組み木パズル」をつくります。</p> <p>・「かきつぎ」をつくり、板をつなぐことに挑戦します。</p> <p>・形や色の組み合わせなど、表したい意図に関連づけて技能を働かせます。</p>
二 学 期  1 4 W	<p>○手びねりによる制作 [陶芸]</p> <p>○芸術家の心にふれて</p>	<p>○粘土のかたまりから立体作品をつくります。</p> <p>・作品に絵付けをし、釉薬をかけます。</p> <p>○名画のよさを見つけ、自分らしいテーマや表し方を考えます。</p> <p>・気に入った芸術家の表し方を知り、形や色の使い方をためしたりしながら、自分の作品に取り入れます。</p>

	○12才のちからでI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表したいものの感じがよく表れるように、描画材料の扱いを工夫します。</li> <li>○板に彫刻刀でレリーフを施します。</li> <li>・自分の思いに合わせて、構想を練ります。</li> <li>・模様の並べ方を、用途を考えて自分なりに工夫します。</li> </ul>
三 学 期  9 W	○12才のちからでII  ○自分史をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくりたいものの大きさや形などから見通しをもったつくり方を考えます。</li> <li>○小学校6年間の思い出を、絵巻物にして表します。</li> <li>・さまざまな描画材料を使用して、絵巻物づくりを楽しむとともに、6年間を振り返ります。</li> </ul>

#### ◇指導の工夫

##### <一人一人の思いを大切にしたい造形活動>

- ・一人一人のよさや可能性を発揮する表現活動をさせるために、児童それぞれの構想に合った助言をする。
- ・各自の作品のもつ形や色、構成の美しさなどをさらに生かすことができるようにするため、表現方法を工夫する。
- ・これまでの造形体験を生かし、創造的な想像力など、持てる力を総合的に働かせることができるよう支援する。

##### <技能の習得>

- ・糸のこぎりで曲線切りや切り抜きなどを体験し、その使い方に慣れるようにする。
- ・表したいことに合わせて、これまでに経験した表現方法や材料の生かし方などを組み合わせて表現する。

##### <鑑賞力の育成>

- ・作品の背景に興味を持ち、表現する人の思いや心の揺れ、表現の意図などに関心を持ち、自分の感じ方や見方を深める。
- ・様々な作品や表し方を見て、一つの感じ方や見方でとらえることがないように、友だち同士で話し合い、いろいろな角度から作品をとらえるようにする。

#### ◇評価の観点と方法

- ・造形への関心・意欲・態度 → 学習の様子、発表内容、作品、ワークシートの記述内容 等
- ・発想や構想の能力 → 学習の様子、発表内容、作品、ワークシートの記述内容 等
- ・創造的な技能 → 学習の様子、提出物 等
- ・鑑賞の能力 → 学習の様子、発表内容、ワークシートの記述内容 等

#### ◇使用するテキスト類

- ・検定教科書『ずがこうさく 5・6年下 ゆめを広げて』（開隆堂出版）
- ・ワークシート 等

#### ◇保護者のみなさまへ

- ・図画工作科の学習では、身近材料をつかった活動を多く取り入れています。ご家庭で使用されたペットボトルや空き箱などを、材料として使用する際には、事前にお知らせいたしますので、ご用意下さいますようご協力お願いいたします。
- ・また学習内容によっては、紙や粘土、絵の具を手で触って感触を確かめることがあり、衣服に汚れがつく場合があります。スモック・手を拭くタオルはいつでも使用できるようにご準備ください。